

第166期

# 株主通信

2008年4月1日 ⇨ 2009年3月31日

日清紡ホールディングス株式会社

日清紡は、  
「環境カンパニー」を目指し、  
新しいステージへ。  
持株会社制に移行し、  
新たに生まれ変わりました。



# 日清紡グループ 新たな航海へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

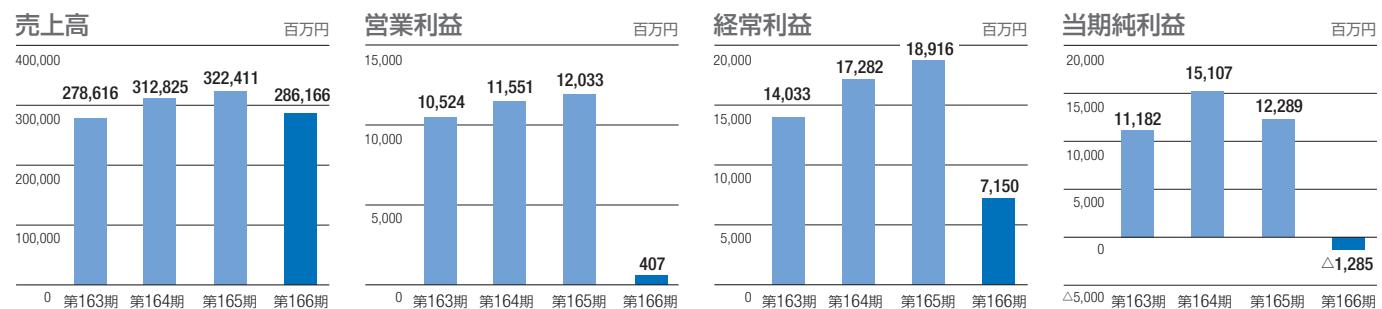
当社は、2009年4月1日より持株会社制に移行し、『日清紡ホールディングス株式会社』として新たに生まれ変わりました。また、2009年6月26日に開催されました定時株主総会および同日開催の取締役会をもちまして、取締役会長に岩下俊士、代表取締役社長に鵜澤静が就任いたしました。

従来同様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(右)取締役会長 岩下 俊士

(左)代表取締役社長 鵜澤 静

## 連結決算ハイライト



## 株主の皆様へ

### 当期業績のご報告

当期における経済環境は、原油や原材料価格の高騰などに加え、米国発の金融危機の影響が実体経済にまで波及したため、企業収益や個人消費などが極めて厳しい状況で推移いたしました。

こうした中で当社グループは、「選択と集中」の基本方針に基づき、事業構造改革を推進してまいりました。その結果、太陽電池製造設備が好調なメカトロニクス事業において大きく業績を伸ばしたものの、主力のプレーキ製品事業が世界的な自動車販売低迷の影響を受けて減収減益となったことをはじめ、全体として極めて厳しい状況に置かれました。

以上により、当連結会計年度の連結売上高は、286,166百万円と前期比11.2%の減収となり、連結営業利益は、407百万円と前期比96.6%の大幅減益となりました。連結経常利益は、受取配当金や持分法投資利益が寄与したものの、営業利益の減少により7,150百万円と前期比62.2%の減益となりました。また、特別損失として早期退職優遇制度の実施による特別退職金などを計上した結果、連結当期純損失は1,285百万円と平成14年3月期以来の損失計上を余儀なくされ、前期比13,575百万円の悪化となりました。

### 今後の展望と課題

当社グループは、日清紡ホールディングスを核とし、自己完結型事業運営の実現により、個別事業における責任・権限の明確化や意思決定の迅速化を図り、事業の成長とガバナンスの強化を推進してまいります。

現在、当社グループは、地球温暖化阻止の鍵となる太陽エネルギーとカーボンのコア技術を確認しつつあります。当社グループの成長戦略として、今後育成すべき新規事業を、環境・エネルギー分野に絞り、太陽電池製造設備・電気二重層キャパシタ・燃料電池セパレータ・ポリカルボジイミド・カーボンアロイ触媒等、オリジナリティーが高く業界トップクラスに位置する事業に経営資源を重点配分し、さらにすべての事業分野で経営の重心を「環境」と「エネルギー」に移すことで、環境カンパニーとして地球温暖化の阻止に貢献し、グループの大きな成長を図ってまいります。

### 株主の皆様への姿勢

当社では、取締役会の決議により、普通配当15円を基本配当政策とし、業容の拡大と業績向上を通じて株主の皆様のご負担にお応えするとともに、収益の向上に応じた増配などの利益還元を行うことを方針としております。当期の業績は前述の通り赤字を余儀なくされましたが、皆様への安定的な配当の維持を重視し、今回の期末配当につきましては、前期と同額の1株当たり7円50銭とさせていただきます。これにより、同額の間配当と合わせた年間配当額は、1株当たり15円となりました。

当社グループは、持てる技術を発揮して地球温暖化の阻止に取り組むことで、『企業公器』という企業理念を具現化したいと考えております。この大きな役割を果たし、自らの社会的存在意義と企業価値を高めていくことで、株主の皆様のご期待に報いてまいります。

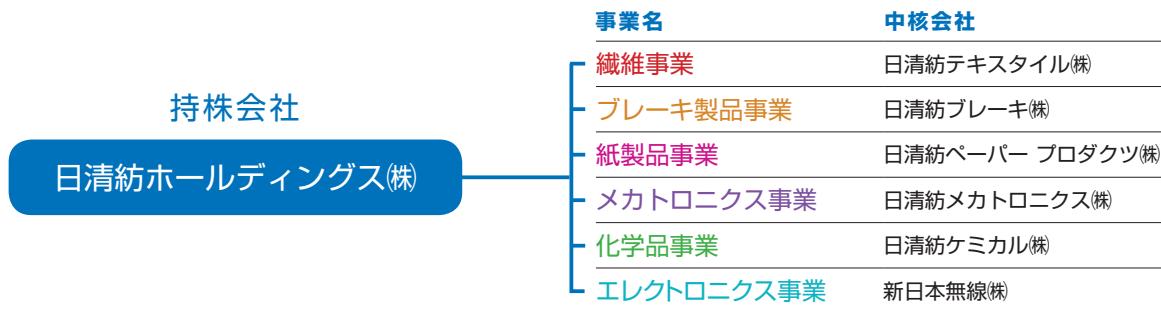
今後とも当社グループへのご理解と長期的なご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 日清紡績は日清紡ホールディングスへ

2009年4月、日清紡グループは持株会社制へ移行し、当社より分社化された「繊維」「ブレーキ製品」「紙製品」「メカトロニクス」「化学品」の5つの事業に「エレクトロニクス」を加えた6つの事業を中核とする企業グループとなりました。経営効率の改善とコスト構造の最適化、各事業会社による機動的な企業活動の推進が、この新体制の目的です。

今後、持株会社となった当社を核にグループ経営の強化を図りつつ、事業環境に応じた機動的な事業運営と競争力の確保に努め、自己完結型事業運営の実現を目指してまいります。

□ 持株会社制移行後のグループ組織図



## 繊維

### 綿・化繊糸および布、不織布、スパンデックス製品など

売上高	67,593百万円	前期比	14.2%減
営業損失	2,743百万円	前期比	1,527百万円の悪化

日清紡テキスタイル(株)は、紡績・織布・加工・縫製の各分野において、開発から生産まで一貫して手掛ける総合繊維メーカーです。各種素材から最終製品に至るまで、幅広い事業を展開中。各分野ともに、生産工場および子会社と連携し、製販一体の事業運営を行っています。

## ブレーキ製品

### 摩擦材、ブレーキアセンブリなど

売上高	53,260百万円	前期比	19.8%減
営業利益	3,309百万円	前期比	62.7%減

走る・曲がる・止まる、という自動車の3つの基本性能のうち、日清紡ブレーキ(株)は「止まる」という機能を支えるブレーキ製品を、日本国内のみならず世界中の多くの自動車メーカーに供給。特にキーパーツである摩擦材製品については、原材料に関する豊富なデータおよびノウハウの蓄積、最先端機器の導入などにより高い評価を受けています。

## 紙製品

### 家庭紙、洋紙、成型加工製品、パッケージ製品など

売上高	34,214百万円	前期比	2.0%増
営業利益	780百万円	前期比	32.8%減

家庭紙事業と洋紙事業の2つから成る日清紡ペーパー プロダクツ(株)により事業展開。前者では、ティッシュペーパー、トイレットペーパーなど日常生活に欠かせない商品を扱い、高付加価値商品も投入。後者では、商業印刷・出版分野を対象とするファインペーパーや合成紙の他、電報・写真台紙・パッケージ分野向けの紙加工品も扱っています。

## メカトロニクス

### 太陽電池製造設備、専用工作機械、精密加工部品など

売上高	14,738百万円	前期比	82.3%増
営業利益	1,553百万円	前期比	285.4%増

過去半世紀にわたり、各種工作機械、ESC・自動車関連精密部品加工等の開発から製造、販売まで携わってきた日清紡メカトロニクス(株)により事業展開。培ってきたノウハウを活かして、環境・エネルギー関連の新分野を開拓し、特に太陽電池モジュール製造設備の開発・量産化およびグローバル展開に積極的に取り組んでいます。

## 化学品

### ウレタン、カーボン製品、高機能化学品など

売上高	32,624百万円	前期比	15.3%減
営業損失	1,448百万円	前期比	660百万円の悪化

日清紡ケミカル(株)が事業展開する化学品分野では、クリーンエネルギーとして期待される「燃料電池セパレーター」、環境負荷の低減に寄与する「カルボジライト」を今後の成長事業として経営資源を投入。また、「熱可塑性ウレタンエラストマー」「ガラス状カーボン」「硬質ウレタンフォーム」の用途拡大も推進しています。

## エレクトロニクス

### 半導体、電子部品、電子機器、無線機器など

売上高	60,549百万円	前期比	20.8%減
営業損失	3,918百万円	前期比	5,021百万円の悪化

新日本無線(株)およびそのグループ会社は、アナログ半導体を中心に、設計・開発、製造から販売までをグループ内で一貫して手掛け、主力製品のオペアンプでは、世界トップクラスの販売数量を誇ります。その他には、レーダー用電子管や衛星通信用コンポーネント製品など、マイクロ波を利用した独自製品も製造・販売しています。

## 不動産

### 土地・建物の賃貸、宅地分譲など

売上高	6,433百万円	前期比	18.1%増
営業利益	3,340百万円	前期比	22.7%増

当社不動産事業部が事業展開する不動産分野では、当社グループが保有する遊休資産をショッピングセンターやスポーツ・レジャー施設、オフィス、住宅、老人介護施設、住宅展示場などに活用しています。また、再開発候補地については、宅地分譲を中心に再開発計画を推進しています。

## 日清紡のカーボンアロイ触媒 発電性能アップで 燃料電池の本格普及を加速

これまで燃料電池には、触媒として高価で有限な資源である白金が用いられており、燃料電池の本格普及にとって、コスト面・供給面で妨げとなっていました。当社グループでは、白金に代わる「カーボンアロイ触媒」の研究開発において、代替触媒として世界最高レベルの発電性能を確認し、実用化に目途をつけました。



### Q カーボンアロイって？

カーボンアロイとは、性状の異なる複数のカーボン(炭素)、あるいはカーボンと異種素材を混合し、焼成した材料です。

燃料電池の触媒は、水素と酸素の化学反応を促進し、電気と水を発生させる重要な役割を担っています。従来、触媒に用いられていた白金は希少金属であり、燃料電池の本格普及にとって、コスト高と安定供給の点がネックとなっていました。また、白金は発電中に溶解し、燃料電池の部材を腐食させることが指摘されており、これらの問題を解決するカーボンアロイ触媒の実用化が待たれていたのです。

### Q 今までと何が違うの？

今回確認されたカーボンアロイ触媒の発電性能は白金とほぼ同等。コストは白金の約6分の1となります。燃料電池車1台に必要な白金は約100グラム、家庭用燃料電池では約5グラム。価格が約500万円程度とされる燃料電池の場合、白金触媒だけで約60万円の費用がかかるところを、カーボンアロイ触媒を使えば、約10万円に抑えられます。もちろん、工業的生産による安定供給が可能な点もカーボンアロイ触媒の大きなメリットです。

当社グループでは、2010年春よりカーボンアロイ触媒の量産を開始する計画です。

## 日清紡メカトロニクスの 美合工機事業所内に大型新工場が完成

2009年4月10日、日清紡メカトロニクス(株)の美合工機事業所内に建設が進んでいた第4工場が竣工し、5月より稼動を開始しました。

新工場の建屋は地上3階・地下1階で、延べ床面積は10,000㎡。製造スペースの大幅拡大によって、モジュールラミネータ、ソーラシミュレータの単体機だけでなく、受注が増加している太陽電池一貫製造ラインの組立・調整を、より円滑・安全に行うことが可能となりました。また、地下フロアにはクリーンルームを設置し、高精度・高クリーン度が要求される製品の開発・製造にも対応。太陽光ビジネスにおける主力拠点として、大きな戦力になると期待されています。



## 当社スペシャルサイト「ワンダーフォレスト」を 佐倉絵麻さんが探検！

当社グループのホームページを飾るスペシャルサイトが2009年4月よりリニューアルされました。新しいスペシャルサイトは「ワンダーフォレスト」。当社のイメージキャラクターである佐倉絵麻さんが不思議な森の中を探検。その足取りは、マウス操作によってサイトを見る人の思った方向に進んでいきます。社会の中で活躍する日清紡がわかりやすく紹介され、爽やかな森の雰囲気とともに楽しめる当サイト。ぜひアクセスしてみてください。



<http://www.wonderforest.jp/>

連結貸借対照表

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期 2009/3/31現在	科目	当期 2009/3/31現在
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>149,866</b>	<b>流動負債</b>	<b>120,174</b>
現金及び預金	32,404	支払手形及び買掛金	22,299
受取手形及び売掛金	58,910	短期借入金	60,069
有価証券	1,636	一年内返済予定の長期借入金	2,385
商品及び製品	22,204	リース債務	46
仕掛品	15,909	コマーシャル・ペーパー	18,000
原材料及び貯蔵品	9,523	未払法人税等	928
繰延税金資産	1,665	役員賞与引当金	65
その他	7,931	返品調整引当金	123
貸倒引当金	△319	その他	16,255
<b>固定資産</b>	<b>216,992</b>	<b>固定負債</b>	<b>52,985</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>118,178</b>	長期借入金	4,467
建物及び構築物	50,798	リース債務	133
機械装置及び運搬具	33,208	繰延税金負債	4,747
土地	28,062	退職給付引当金	25,155
リース資産	174	役員退職慰労引当金	478
建設仮勘定	2,541	負ののれん	1,885
その他	3,392	長期預り金	15,421
<b>無形固定資産</b>	<b>3,139</b>	その他	695
のれん	328	<b>負債合計</b>	<b>173,159</b>
その他	2,811	<b>純資産の部</b>	
<b>投資その他の資産</b>	<b>95,674</b>	<b>株主資本</b>	<b>177,491</b>
投資有価証券	85,479	資本金	27,587
長期貸付金	128	資本剰余金	20,400
前払年金費用	2,830	利益剰余金	130,520
繰延税金資産	3,999	自己株式	△1,018
その他	3,725	<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,346</b>
貸倒引当金	△489	その他有価証券評価差額金	10,555
<b>資産合計</b>	<b>366,858</b>	繰延ヘッジ損益	△41
		為替換算調整勘定	△8,167
		<b>新株予約権</b>	<b>107</b>
		少数株主持分	<b>13,753</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>193,698</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>366,858</b>

連結損益計算書

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期 2008/4/1~2009/3/31
<b>売上高</b>	<b>286,166</b>
売上原価	243,857
<b>売上総利益</b>	<b>42,309</b>
販売費及び一般管理費	41,901
<b>営業利益</b>	<b>407</b>
<b>営業外収益</b>	<b>9,233</b>
受取利息及び配当金	3,465
持分法による投資利益	4,436
雑収入	1,331
<b>営業外費用</b>	<b>2,491</b>
支払利息	1,139
為替差損	445
雑損失	905
<b>経常利益</b>	<b>7,150</b>
<b>特別利益</b>	<b>4,502</b>
固定資産売却益	125
投資有価証券売却益	3,959
関係会社株式売却益	0
役員賞与引当金戻入額	1
事業譲渡益	414
<b>特別損失</b>	<b>14,220</b>
固定資産売却廃棄損	1,943
減損損失	111
投資有価証券売却損	12
投資有価証券評価損	3,119
関係会社整理損	6
ゴルフ会員権評価損	3
のれん償却額	1,384
特別退職金	3,843
契約解除違約金	645
たな卸資産処分損	708
事業整理損	2,003
災害による損失	438
<b>税金等調整前当期純損失</b>	<b>2,567</b>
法人税、住民税及び事業税	2,119
法人税等調整額	△3,256
少数株主損失	145
<b>当期純損失</b>	<b>1,285</b>

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期 2008/4/1~2009/3/31
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>11,938</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△14,393</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>11,939</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△3,946</b>
<b>現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>5,538</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>23,261</b>
<b>新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>402</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>29,202</b>

連結株主資本等変動計算書

(2008/4/1~2009/3/31)

単位:百万円(未満切捨)

科目	株主資本					評価・換算差額等				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
<b>2008年3月31日残高</b>	<b>27,587</b>	<b>20,400</b>	<b>153,745</b>	<b>△10,904</b>	<b>190,830</b>	<b>30,145</b>	<b>△112</b>	<b>4,321</b>	<b>34,354</b>	<b>58</b>	<b>20,663</b>	<b>245,906</b>
<b>在外子会社の会計処理の変更に伴う減少額</b>			<b>△34</b>		<b>△34</b>							<b>△34</b>
<b>当連結会計年度中の変動額</b>												
剰余金の配当			△2,812		△2,812							△2,812
当期純損失			△1,285		△1,285							△1,285
自己株式の取得				△11,074	△11,074							△11,074
持分法適用会社に対する持分増加による自己株式の増加				△0	△0							△0
自己株式の処分			△19,210	20,960	1,749							1,749
新規連結による増加			132		132							132
従業員奨励及び福利基金(注)			△13		△13							△13
株主資本以外の項目の当連結会計年度中の変動額(純額)						△19,590	70	△12,489	△32,008	49	△6,909	△38,869
<b>当連結会計年度中の変動額合計</b>			<b>△23,190</b>	<b>9,885</b>	<b>△13,304</b>	<b>△19,590</b>	<b>70</b>	<b>△12,489</b>	<b>△32,008</b>	<b>49</b>	<b>△6,909</b>	<b>△52,173</b>
<b>2009年3月31日残高</b>	<b>27,587</b>	<b>20,400</b>	<b>130,520</b>	<b>△1,018</b>	<b>177,491</b>	<b>10,555</b>	<b>△41</b>	<b>△8,167</b>	<b>2,346</b>	<b>107</b>	<b>13,753</b>	<b>193,698</b>

(注)従業員奨励及び福利基金は、中華人民共和国所在の子会社が当該国の法令に基づいて設定したものです。

## 会社データ

### ◎ 会社概要 (2009年4月1日現在)

会社名 日清紡ホールディングス株式会社  
英文社名 Nisshinbo Holdings Inc.  
設立 1907(明治40)年2月5日  
資本金 27,587,976,204円  
従業員数 2,484名 (2009年3月31日現在)  
本社 〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11  
大阪支社 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-4-2  
名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-2-38三ツ桃ビル3F  
事業所 島田、藤枝、浜北精機、富士(静岡県)  
美合、美合工機、豊田(愛知県)  
川越(埼玉県)、徳島(徳島県)  
館林(群馬県)、旭(千葉県)  
研究所 中央研究所(千葉県)

### ◎ 取締役・執行役員 (2009年6月26日現在)

取締役会長	岩下 俊士	取締役	五十部雅昭
取締役社長*1	鷗澤 静	常務執行役員	
取締役副社長*1	戸田 邦宏	取締役	河田 正也
取締役		執行役員	
専務執行役員	竹内 伸二	取締役*2	秋山 智史
取締役		取締役*2	花輪 俊哉
常務執行役員	恩田 義人	取締役*2	加藤 紘二
取締役		執行役員	村上 雅洋
常務執行役員	榊 佳廣	執行役員	馬場 一訓

\*1は代表取締役 \*2は社外取締役

### ◎ 監査役 (2009年6月26日現在)

常勤監査役 井出 義男  
常勤監査役 佐塚 政男  
監査役\* 川上 洋  
監査役\* 富田 俊彦

\*は社外監査役

### ◎ グループの概要 (2009年4月1日現在)

グループの従業員数 12,726名 (2009年3月31日現在)

#### 主なグループ会社

#### 国内

繊維事業	日清紡テキスタイル(株) CHOYA(株) 日清デニム(株) (株)ナイガイシャツ	東京都 東京都 徳島県 大阪府
ブレーキ製品事業	日清紡ブレーキ(株) 日清紡ブレーキ販売(株)	東京都 東京都
紙製品事業	日清紡ペーパー プロダクツ(株) 東海製紙工業(株) 日清紡ポスタルケミカル(株) 大和紙工(株)	東京都 静岡県 東京都 東京都
メカトロニクス事業	日清紡メカトロニクス(株) 日本高分子(株)	東京都 愛知県
化学品事業	日清紡ケミカル(株)	東京都
エレクトロニクス事業	新日本無線(株) 上田日本無線(株)	東京都 長野県
不動産事業	日清紡都市開発(株)	東京都
その他事業	ニッシン・トーア(株) 岩尾(株)	東京都 大阪府

#### 海外

繊維事業	ブラジル日清紡 ニカワテキスタイルインダストリー ギステックス日清紡インドネシア 日清紡績(上海)有限公司	ブラジル インドネシア インドネシア 中国
ブレーキ製品事業	日清紡オートモーティブ 日清紡オートモーティブマニュファクチャリング 日清紡ソルブメントオートモーティブ セロンオートモーティブ	アメリカ アメリカ タイ 韓国
メカトロニクス事業	タイ高分子 浦東高分子	タイ 中国

## 株式情報

### ◎ 株式状況 (2009年3月31日現在)

発行可能株式総数 371,755,000株  
発行済株式総数 184,098,939株  
株主数 13,153名

#### 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
定時株主総会基準日 3月31日  
単元株式数 1,000株  
剰余金配当基準日 3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11  
Tel 0120-232-711(通話料無料)

証券コード 3105  
公告の方法 電子公告の方法により行います。  
公告掲載URL <http://www.nisshinbo.co.jp/>  
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

#### 株式に関する住所変更等のご照会およびお届出について

株式に関するお手続き(届出住所・姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会およびお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、いずれかの窓口にご連絡ください。

#### 【証券会社で口座を開設されている株主様】

……当該証券会社にご連絡ください。

#### 【証券会社で口座を開設されていない株主様】

……三菱UFJ信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)

#### 特別口座について

株券電子化の施行日(2009年1月5日)前に証券保管振替機構(ほふり)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三菱UFJ信託銀行に開設された口座(特別口座)に記録されております。特別口座の詳細につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。  
※各種届出用紙のご請求は下記のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

Tel 0120-244-479(通話料無料)  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## 株主優待のご案内

当社の株主優待は、「緑の募金\*」への寄付または当社グループの紙製品ギフトセットのどちらかを選択いただける内容となっております。詳細につきましては、ご優待対象の株主様へ同封いたしました株主優待申込みはがきをご覧ください。

### 株主優待の内容

次のいずれか1つを選択いただけます。

- 1 株主様からのお申込み分1件あたり3,000円を当社が「緑の募金」へ寄付
- 2 当社グループ紙製品特製ギフトセット(3,000円相当)

### ご優待対象の株主様

2009年3月31日現在で、1,000株以上保有する国内在住の個人株主の方。

### ご優待のお申し込み方法

ご優待対象の株主様には、株主優待申込みはがきを同封しておりますので、ご優待を希望される株主様は必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。なお、お申込みの締切りは2009年7月31日となっておりますので、ご注意ください。

※(社)国土緑化推進機構が推進する「緑の募金」は、以前は「緑の羽根募金」として親しまれていた、地球規模での緑の保全のための募金活動です。昨年度は株主様からのお申込み分に、さらに当社からの寄付分を加えた金額を(社)国土緑化推進機構に寄付いたしました。